



先日訪日したとき、実家の最寄り駅の構内ではこのような字が駅の中に書いてあり、燕の巣がありました。なんと優しい心遣いでしょう。かなり駅の中に入ったところでした。多くの人の雑踏の中でも心遣いがあるのですね。



また河口湖畔の真ん前に富士山が見えるホテルに泊まることができました。湖畔でなにか作業をしている2, 3人のおじさんに何をしているのかききました。驚くべき答えが帰ってきました。白鳥が今卵を温めているので、カラスに卵がとられないように小屋を作っているということです。





よく見てみるとその作業の中、うずくまっている白鳥がいて、あっというまにその白鳥の周りに小屋ができました。河口湖には50羽も白鳥がいるのだそうです。なんと優しい気遣いでしょう。





羽田飛行場からロサンゼルスに帰る日にまず3階の出発ロビーカウンターで荷物を入れたカートからスーツケース3つを機内に入れてもらうように手わたしました。まだ時間があるので私が手荷物の入ったカートを押しながら2階におりてソファに座りました。

私はトイレにいった早めにゲート内に入ろうと立ち上がったとき、手荷物を入れていたカートの中にあるはずの夫の大きな夫のバックパックがない！！！！視界から消えていました。カートにはコンピューターバッグと夫のバックパックが載せてあったはずです。

パスポートなどはコンピューターバッグに入れてあってバッグパックにはこわれもののおせんべいやかりんとうなどが入っていたにすぎませんが、大きなものが視界から消えているのに合点がいきませんでした。

夫が思い返してみると、カートに載っていたスーツケースを係りの人に渡す際にその上にあったバッグパックを床においたおぼえがあるということです。そこにそのまま置いてきたのでは？

カウンターにもどり、係の人にききましたが、ありません。インフォメーションセンターに行くように指示されて3階のインフォメーションセンターできいてみました。ありません。1階のインフォメーションにもといあわせてくれました。



たいしたものが入っていたわけではないので、あきらめようと時間があつたので飛行機の発着が見える屋上にいて時間をすごしました。どう考えても合点がいきません。ゲイトに入らなければならない時間が近づいてもう一度インフォメーションによってみようと思い、立ち寄りました。



「どんな形ですか？何色ですか？何が入っていましたか？」とさきほどと同じ係の人が「1階のインフォメーションにきいてみます」といって電話をしてくれました。

「それらしきものが1階のインフォメーションセンターに届けられているそうです」

すぐに行ってみました。ありました！！

見つかった場所をきくと私たちが行った場所ではない、モノレールの発着所にあったというのです。

カウンターに戻って報告すると、「日本ですよー」

そうです、日本だからですね。失くした物や落とし物がでてくるとことは外国人にとっては驚きのことです。

どうしてこんなことがおこったのかわかりませんが、みつかったのは、神様のみわざです。またこの事件の最中でも、みなさんがとても親切にやさしく対応してくれました。

先述のつばめや白鳥のこともそうですが、人々のやさしさや思いやりを感じた訪日でした。

それが教えられた道徳からではなく神様の愛に根ざした優しさになりますように、祖国の救いを祈ります。

竹下弘美



折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

電話 & FAX 093-692-9200 (9:00~13:00)

メール oriochurch@outlook.jp

URL <http://www.oriochristianchurch.net>